

平成 27 年度事業報告

【重点事業】

平成 27 年度は重点事業として、以下のような事業を実施した。

① 会員の増強

- ・技術管理者講習会において、当協会案内パンフレット、「環境技術会誌」等を置くなど、会員の増強を促進した。
- ・技術管理者講習修了者に対して、廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定制度（以下、技術管理者 CPDS という。）への申込書を配布するなど、技術管理者 CPDS とリンクした会員増強策を実施した。
- ・会員のメリット向上のため、協会ホームページ「会員のページ」に調査報告書、研修会資料、メールマガジン等のバックナンバーを掲載した。
- ・廃棄物処理関連団体に対し、賛助会員または団体会員入会の勧誘を行った。

② 技術管理者 CPDS の実施

- ・技術管理者講習修了者に対して、技術管理者 CPDS 案内パンフレットを配布し、参加者の増強に努めた。
- ・技術管理者に相応しい称号を付与するために、その基準を明確化した。

③ 調査・研究の実施等

「長期包括運営委託業務・PFI 事業に関する維持管理実態調査」を実施した。

【平成 27 年度事業計画実施状況】

事業実施状況は以下のとおりである。

項目	実施状況
1. 広報・出版活動	
1)「環境技術会誌」季刊発行 第159号(平成27年 4月) 第160号(平成27年 7月) 第161号(平成27年10月) 第162号(平成28年 1月)	・実施済 ・実施済 ・実施済 ・実施済
2)ホームページの運営	・平成27年6月19日(金)、ホームページアドレス、メールアドレスを公的 名称に改め、内容刷新作業を完了。 ・随時更新中
3)メールマガジンの配信	・毎月1回配信中
2. 研修会・講習会の実施	
1)廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会	・平成27年6月19日(金)、連合会館、参加者88人
2)技術管理者CPDSの実施	・平成27年7月29日(水)、技術管理者CPDS運営委員会 ・平成27年12月3日(木)、技術管理者CPDS運営委員会
3)廃棄物処理施設技術管理者セミナー	・平成28年1月28日(木)、ウインクあいち、参加者36名 ・平成28年2月2日(火)、連合会館、参加者75名
4)廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ 研修会	・平成27年11月11日(水)～13日(金)、博多バスターミナル(福岡) ・平成27年12月1日(火)～12月13日(木)、第1セントラルビル(岡山)
3. 第10回廃棄物処理施設維持管理技術 事例研究発表会	平成27年10月22日(木)、京都テルサ、参加者190名
4. 各種表彰	
1)環境大臣表彰	・稲村理事
2)生活と環境全国大会大会長感謝状	・松崎代議員、土方理事受賞
3)会長感謝状	・13名に贈呈
4)年間論文賞	・最優秀賞1編、優秀賞1編、特別賞2編、奨励賞1編を贈呈
5. 地区協議会への支援 1)助成金 2)講師派遣 3)その他	各地区協議会に対して、行事・講師派遣並びに財政的支援を実施 1)助成金:山形県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新 潟県、山梨県、島根県、滋賀県 2)・山形県:「し尿処理技術の最新動向について」、 竹野 勝彦/一般社団法人日本環境衛生施設工業会 ・新潟県:「産業廃棄物処理業の課題と今後」、 森谷 賢/公益社団法人産業廃棄物連合会 3)群馬県:「ぐんま環境フェスティバル」配布資料提供

平成 27 年度事業計画実施状況のつづき

項目	実施状況
6. 調査研究事業	
1) 長期包括委託業務・PFI事業に関する維持管理実態調査(継続)	・平成28年3月23日(金)、PPP事業維持管理実態調査委員会
2) ガス化溶融施設実態調査	・平成27年10月6日(火)、ガス化溶融施設実態調査委員会、実施済
7. 技術支援事業(継続)	
1) 受託事業	具体的な案件なし
2) その他相談業務	・I東部衛生組合: し尿処理汚泥と下水処理汚泥の処理処分と再利用(肥料取締法関連) ・K南部衛生組合: 技術管理者の委託と市町村の処理責任 ・T事務組合: ガス化溶融炉作業環境改善対策事例調査
8. 事業推進のための会議等	・理事会: 第18回平成27年5月28日(木)、連合会館 第19回平成27年6月18日(木)、連合会館 第20回平成28年3月18日(金)、連合会館 ・第6回社員総会: 平成27年6月18日(木)、連合会館 ・運営部会: 平成27年5月13日(水)、7月24日(金)、11月27日(金) 平成28年3月3日(木)の年4回開催 ・論文賞審査委員会: 平成27年8月19日(水) ・編集委員会: 平成28年3月10日(金)
9. 関係団体への協力等	・廃棄物団体連合会幹事会: 6月16日(火) ・廃棄物団体連合会総会: 6月30日(火) ・生活と環境全国大会: 平成27年10月20日(火)～10月22日(木)
10. 国への要望	・12月8日(火)、環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課

【平成 27 年度事業報告】

1. 普及啓発事業

1) 広報・出版活動

(1) 「環境技術会誌」季刊発行(1月、4月、7月、10月)

本誌は、紙面の充実を図るとともに会員へのサービス向上を目的として、季刊の年4回発行した。

第159号(平成27年 4月)

第160号(平成27年 7月)

第161号(平成27年10月)

第162号(平成28年 1月)

(主な記事)

- ・廃棄物処理・維持管理技術に関する特集記事、報文
- ・専門委員会報告
- ・環境省等行政資料
- ・国内・海外の廃棄物関連情報

(2) ホームページの運営

廃棄物情報の提供、会員との情報交流並びに当会の情報公開の場として運営を行った。

今まで会員のページには廃棄物処理法入門コーナー、地区協議会活動助成申請書及び収支報告書が掲載されていたが、新たに調査報告書、セミナー等の資料、メールマガジン等のバックナンバーを掲載して会員サービスに努めた。

(3) メールマガジンの配信

会員へのスピーディな情報発信のため、会員の希望者に毎月メールマガジンを配信した。

2) 研修会・講習会の実施

(1) 第36回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会（技術管理者 CPDS 認定）

本集会は本協会会員はじめ廃棄物処理に関連する方々を対象として、最近の行政動向、最新の技術や話題の紹介を通じ、技術管理者としての資質向上を目的として開催した。

開催日：平成27年6月19日（金）、10時～16時

会場：連合会館

テーマ：①廃棄物処理行政の動向

環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部

②その他、最近の話題を中心とした企画4テーマ程度の講演を実施

(2) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定制度の実施

廃棄物処理施設を適正に維持・管理するには、常に最新の維持管理技術や管理手法等を習得し、技能の向上が技術管理者にとって重要である。

そこで、一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会の事業として、継続学習制度（以下「CPDS」Continuing Professional Development System の略）を実施した。

この制度は、廃棄物処理施設の技術者が種々の講習会、研修会、講演会、シンポジウムなどの受講や活動成果の発表をした場合に、それらの学習記録を残し、必要により学習履歴を証明するシステムである。平成27年度は登録者に対する称号付与の条件を明らかにした。

このような継続教育制度の実施によって、廃棄物処理施設の維持管理に関する知識レベルの維持・向上及び当該分野の最新知識の習得に努め、社会的使命を果たすことが可能となる。

(3) 技術管理者 CPDS 認定「廃棄物処理施設技術管理セミナー」

当協会では、会員並びに技術管理者など廃棄物処理施設の維持管理に従事する方々のスキルアップのため、セミナーを開催した。

東京会場：平成28年2月2日（火）

名古屋会場：平成28年1月28日（木）

(4) 廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会（技術管理者 CPDS 認定）

廃棄物処理技術に関する最新情報を提供するとともに、廃棄物処理の現場で抱える様々な課題について講師と参加者が相互に事例紹介や情報交換を行う場として（一財）日本環境衛生センターと共催して実施した。

福岡会場：平成27年11月11日（水）～13日（金）

岡山会場：平成27年12月1日（火）～3日（木）

- 3) 第10回廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会（技術管理者 CPDS 認定）
技術管理者の情報交換を行うため、以下の研究発表会等を（一財）日本環境衛生センターと共催して実施した。
- 会 期：生活と環境全国大会（平成27年10月20日(火)～10月22日(木)）
事例研究発表会（平成27年10月22日(木)）
会 場：京都市（京都テルサ）
内 容：廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会

4) 各種表彰

(1) 環境大臣表彰の推薦（新規）

環境大臣表彰の中央推薦の基準を明確にした上で、当協会会員を推薦した。

(2) 第59回生活と環境全国大会（平成27年度）大会長感謝状受領者の推薦 大会長感謝状の中央推薦団体として2名を推薦した。

贈呈式：第59回大会席上

(3) 会長感謝状の贈呈制度

永年に亘り、会の発展に尽力した会員に対して会長感謝状を贈呈した。

贈呈式：平成27年度廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会席上

贈呈者：運営部にて選考

(4) 年間論文賞の表彰制度

会員からの環境技術会誌、支部会誌の投稿を対象とした優秀論文を表彰した。

この賞は年間論文賞審査委員会において選考し、運営部会で決定した。

委 員：横田 勇、淡路宣男、河辺安男、杉山吉男、田所正晴

授賞式：（平成27年度廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会席上）

5) 地区協議会活動への支援

地区協議会の要請に基づき、行事・講師派遣等活動の支援を行った。

2. 調査・研究事業

(1) 調査・研究事業

1) ガス化溶解施設の運転管理に関する実態調査

報告書を印刷製本し、関係者に配布するとともに、ホームページの会員のページに掲載した。

2) 長期包括運営委託業務・PFI 事業に関する維持管理実態調査

廃棄物処理施設の長期包括委託維持管理業務及びPFI 事業について、アンケート調査結果を解析した。

3. 技術支援事業（継続）

廃棄物処理事業者の方々に対して、本会の長年にわたる活動実績を活かし、廃棄物処理施設の計画・建設及び運営に関する技術相談に対応した。

4. 事業推進のための会議等

1) 第6回定時社員総会の開催

開催日：平成27年6月18日（木）、14時～16時

会場：連合会館

議事等：①平成27年度28年度役員選任の件
②名誉会員の選出の件
③平成26年度事業報告の件
④平成26年度収支決算の件
⑤平成27年度事業計画の件
⑥平成27年度事業予算の件
⑦国等への要望事項の件

2) 理事会の開催

(1) 第18回理事会

開催日：平成27年5月28日（木）、14時～16時

会場：連合会館

議事等：①平成27年度28年度代議員選挙結果及び役員候補者の選出
②平成26年度事業報告の件
③平成26年度収支決算の件
④国等への要望事項（案）の件
⑤ホームアドレス変更の件

(2) 第19回理事会

開催日：平成27年6月18日（木）、16時～17時

会場：連合会館

議事等：①代表理事の選定
②平成27年・28年度副会長、業務執行理事（専務理事）の選定及び名誉会長・顧問選任の件

(3) 第20回理事会

開催日：平成28年3月18日（金）

会場：連合会館

議事等：①平成28年度事業計画の件
②平成28年度事業予算の件

3) 部会等の開催

(1) 運営部会 年4回開催した。

議題：①組織の運営・管理に関する事項
・事業計画、予算及び決算に関すること
・会員の増強に関すること
・地区技術管理者協議会の設置、育成、強化に関すること
②会則、細則、制度、内規及びその他の規定に関すること
③研修会、講習会等の企画及び実施に関すること
④会員の表彰等の選考調整に関すること
⑤その他本会の目的達成のために必要な事業に関すること

- (2) 編集委員会 平成28年3月10日(金)に開催した。
議 題：①環境技術会誌の企画、編集に関すること
②刊行物に係る業務に関すること
- (3) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習制度運営委員会
平成27年7月29日(木)、12月3日(木)に開催した。
議 題：①継続教育システムの検討
②評価制度の検討
③CPDS 認定の称号付与に関する検討
- (5) 長期包括委託による維持管理実態調査委員会 平成28年3月23日(金)
議 題：①調査結果の検討・報告書のとりまとめ

5. その他の事業

- (1) 「廃棄物処理施設技術管理士」証明看板の発行

6. 関係団体への協力等

国をはじめ関係団体等が行う各種の活動・行事等の啓発活動等に対して協力を行った。

- ①廃棄物団体連合会、廃棄物資源循環学会
- ②第59回生活と環境全国大会(平成27年度)の協賛、その他関係団体の行事等の協力

7. 組織運営

1) 財政の健全化

(1) 入会促進

(一財)日本環境衛生センターの技術管理者講習修了者に対して、個人会員、団体会員及び賛助会員の入会を促進した。また、廃棄物処理に関係する団体等に対しては、賛助会員の入会を促進した。

(2) 広告掲載の拡大

機関誌への広告拡大を推進した。

2) 国等への要望行動等

技術管理者に関連する事項について、要望行動を行った。

3) 代議員、役員を選出

平成27年度・28年度の代議員、理事・監事を選出した。

4) ホームページ(HP)の刷新

会員等サービスの充実を図るため、HPの容量を増大し、トップページを見やすく刷新した。また、メールアドレス及びURLを以下のような公的名称に改めた。

現行のURL：<http://homepage3.nifty.com/kyougikai>

新しいURL：<http://www.jaem.or.jp>